



吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！ になれるところ

第349回御影道中供奉人集会開催

人が生み出される御影道中

例年であれば1月に開催される供奉人集会ですが、ウィルスの感染拡大を考慮し、規模を縮小して2月25日午後より開催されました。初めに篠原吉崎別院輪番の挨拶ではじまり、続いて宮地幹夫協力会会長（昨年就任）挨拶の後、供奉人お一人おひとりに輪番より御影道中供奉人御依頼状が手渡されました。御依頼状を手にした供奉人の方々はここ2年歩く事が出来なかった現状を踏まえ「このままではお立ち寄り会所の方々や、その地域の方々との繋がりが途絶えてしまう」また「御影道中と言う大事な仏事が忘れられてしまう」と不安視する声が聞かれました。その声に応え、宮地協力会会長は十分現状に配慮しながらも「リヤカーを用いての道中、また人数を極力制限したなかでのお立ち寄り会所での参拝を考えている」との説明がありました。



篠原輪番



依頼状授与



宮地会長挨拶



國分大慶師

その後國分大慶師（能登教区14組安泉寺 御上洛随任教導）の講義があり、その中国分師は過去4回道中に参加し蓮如上人をしたって後を追うつもりが実は蓮如上人に押し出されていると感じていますと語られました。